

地 理 B 問 題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 13 ページまでである。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
2. これは、地理 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認のうえ、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆又はシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	  

(d) 20 世紀末から 21 世紀にかけてのラテンアメリカの経済構造の大きな変化の要因としては、貿易の自由化や関税の撤廃などを目的とした経済統合が進展していったことが挙げられる。これは、ある国が近隣の国々と経済的な関係を深めるために結ぶ協定である。例えば中米諸国は を発足させた。しかし近年、経済統合は、遠隔地の国同士の間でも活発に進められている。例えば南米南部共同市場(MERCOSUR)にはラテンアメリカ南部の国々が基本的に加盟しているが、現在は、 も加盟している。

問 7 に最も適切な名称を以下の選択肢から 1 つ選んで、その記号をマークせよ。

A CAN B SICA C NAFTA D FTAA

問 8 に最も適切な名称を以下の選択肢から 1 つ選んで、その記号をマークせよ。

A ベネズエラ B メキシコ
C キューバ D エクアドル

(e) ラテンアメリカには多くの日系人が暮らしているが、とりわけブラジルにおけるその存在感は顕著である。ブラジルにおける日系人の数は 万人以上と言われている。国家間の移民政策によって 20 世紀初頭のブラジルに渡った日本人たちは、当初はコーヒー農園で過酷な労働に従事していたが、やがては医者や弁護士になる人材も出るようになった。しかし移住先において経済的な苦境に陥った日系人の中には日本に戻り、労働者として中長期的に滞在するケースが近年目立ってきている。彼らはブラジルでは「デカセギ」として認知されており、日本において外国人登録を行ったブラジル人の数は 2005 年の時点で約 万人に達した。

問 9 に最も適切な数値を以下の選択肢から 1 つ選んで、その記号をマークせよ。

A 120 B 130 C 140 D 150

問10 に最も適切な数値を以下の選択肢から 1 つ選んで、その記号をマークせよ。

A 20 B 30 C 40 D 50

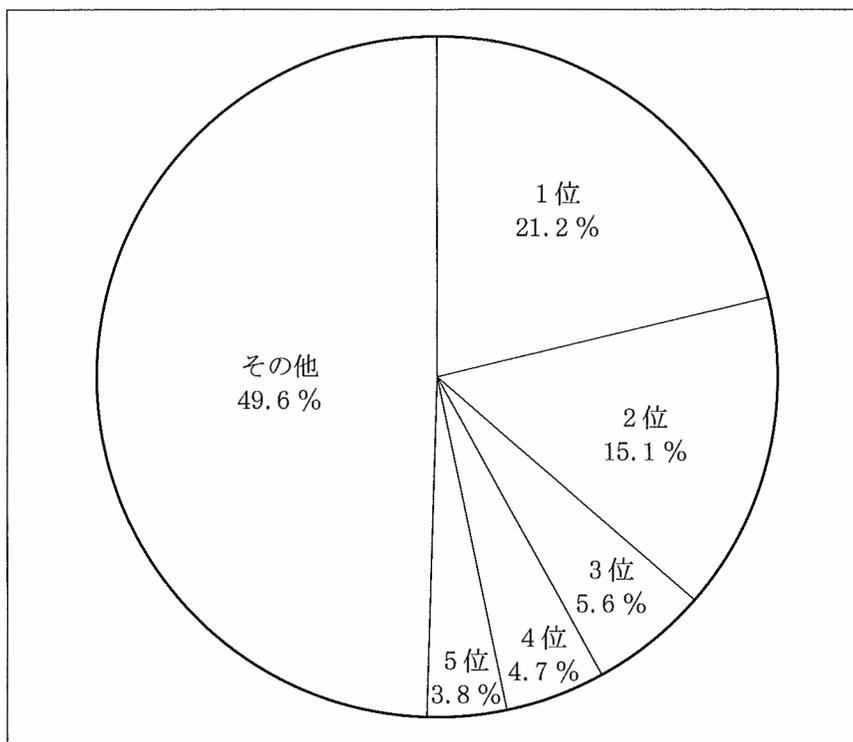
〔Ⅱ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えよ。

第二次世界大戦後のアジア諸国の急速な経済成長は、多くの注目を集めた。中でも、その先頭に立った日本⁽¹⁾は、戦後の復興期を経て、1955年頃から高度経済成長期に入り、1968年には国民総生産が当時の西ドイツ⁽²⁾を超えて、資本主義諸国の中で第2位となった。1960年代以降は、アジア NIES（新興工業経済地域）⁽³⁾と呼ばれる国・地域が成長を遂げるようになり、その後、マレーシアやタイ、フィリピン⁽⁴⁾などの ASEAN4 と呼ばれる国々もアジア NIES に続くようになる。

5 年代後半に对外开放政策に転換した中国⁽⁶⁾も、外資系企業の進出などにより、急激な経済発展を遂げ、2010年には、日本を抜いて、国内総生産が世界第2位となる。

こうした中、多くのアジア諸国の間で分業⁽⁷⁾が盛んに行われるようになった。例えば、自動車⁽⁸⁾や電子製品は、様々な国で部品が作られ、それが特定の国で組み合わされて製品化される。こうした分業が生まれた要因としては、地理的な近さとともに、発展水準の相違⁽⁹⁾も影響しているが、アジア諸国間の関税の引き下げ⁽¹⁰⁾など、貿易や投資の自由化が進んだことにも影響を受けている。

問 1 下線部(1)に関して、以下のグラフは、2015年における日本の貿易相手国別にみた輸出入総額の上位5か国とその他のシェアである。輸出入総額が第3位の国はどこか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。



出所：日本関税協会『日本貿易月表』2015年12月号より作成。

- | | |
|-----------|------------|
| A オーストラリア | B アラブ首長国連邦 |
| C 韓国 | D タイ |

問 2 下線部(2)に関して、東西ドイツが再統一した年はいつか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| A 1988年 | B 1989年 | C 1990年 | D 1991年 |
|---------|---------|---------|---------|

問 3 下線部(3)に関して、かつて大陸との交流の玄関口であった福岡市から見て、最も距離的に近い都市は次のうちどこか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- A 東京 B ソウル C 上海 D 台北

問 4 下線部(4)に関して、ASEAN 成立時からの参加国で、ASEAN4 に含まれるもう1つの国はどこか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- A ベトナム B カンボジア
C インドネシア D ブルネイ

問 5 に最も適切な語句を以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- A 1950 B 1960 C 1970 D 1980

問 6 下線部(6)に関して、中国のシンチャンウイグル自治区の区都(首府)はどこか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- A トウルファン B カシュガル
C アルタイ D ウルムチ

問 7 下線部(7)に関して、原材料や製品の輸送に要する費用に着目して、工業立地論を唱えたドイツの経済学者は誰か。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

- A アルフレッド・マーシャル B デーヴィッド・リカード
C ジョン・メイナード・ケインズ D アルフレッド・ウェーバー

問 8 下線部(8)に関して、以下の表は、2014年におけるアメリカ合衆国、日本、韓国、インドの自動車(乗用車・トラック・バス)の輸出台数である。アメリカ合衆国を示す記号はどれか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

国名	輸出台数(千台)
A	4,466
B	3,063
C	2,240
D	708

出所：日本自動車工業会『世界自動車統計年報』2016年版より作成。

問 9 下線部(9)に関して、以下の表は、2014年におけるインド、タイ、フィリピン、マレーシアの1人あたり名目GDPである。フィリピンを示す記号はどれか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

国名	1人あたり名目GDP(米ドル)
A	10,933
B	5,977
C	2,871
D	1,586

出所：総務省統計局『世界の統計』2016年版より作成。

問10 下線部(10)に関して、ASEANを母体とするASEAN自由貿易地域(AFTA)が発足した年はいつか。以下の選択肢から1つ選んで、その記号をマークせよ。

A 1991年 B 1993年 C 1995年 D 1997年

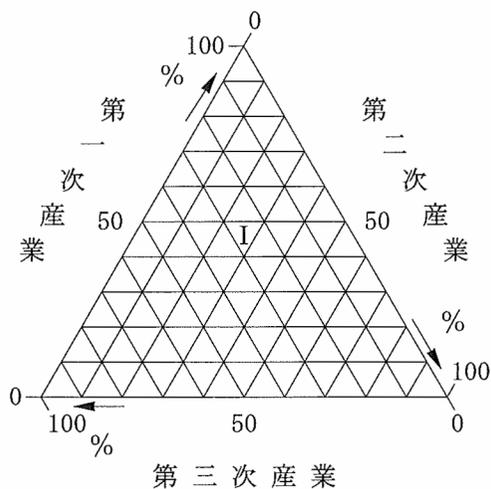
〔Ⅲ〕 以下の表は、日本海側と太平洋側の都道府県を選んで、最近の社会人口統計を示したものである(統計年次は2010年)。この表に関する以下の設問に答えよ。

	育児期の 女性就業率* (%)	3世代世帯 の割合 (%)	核家族世帯 の割合 (%)	0～5歳人口10万人 当たりの保育所数	産業別人口構成(%)		
					第1次	第2次	第3次
A 山形県	70.0	21.5	48.3	416.4	9.8	29.0	61.2
B 富山県	66.7	16.1	53.9	562.6	3.5	33.4	63.1
C 福井県	66.3	17.5	52.1	597.2	3.9	31.3	64.8
D 島根県	69.6	14.3	51.5	755.2	8.3	23.4	68.3
E 千葉県	45.4	5.9	59.5	224.3	2.9	19.2	77.9
F 神奈川県	43.6	3.7	59.3	200.1	0.8	21.5	77.7
G 愛知県	48.1	7.4	57.5	271.3	2.2	31.4	66.4
H 和歌山県	48.2	7.9	60.1	467.7	9.3	21.7	69.0

*育児期の女性就業率は、30～34歳の結婚している女性に占める就業者の割合。

資料：「国勢調査」「社会生活統計指標—都道府県の指標—」により作成。

問1 産業別人口構成にもとづき、三角図表内における、富山県、千葉県、和歌山県の位置を、例示Iに習って、解答欄の三角マス内に記号で図示せよ。



問 2 表から読み取れるように、育児期の女性就業率は太平洋側よりも日本海側において高い。こうした違いを生みだした背景として、どんなことが考えられるだろうか。家族形態、子育て支援、産業構造を念頭に、80字以内で論述しなさい。

〔IV〕 下記の表と問題文を参照した上で、世界的に生産されているおもな穀物に関する以下の問いに答えよ。

世界における穀物種類別土地生産性とその推移 単位(kt/ha)

	1989/91年平均	2000/02年平均	2014/15年
ア	1.33	1.33	1.51
イ	3.51	3.92	4.43
ライ麦	2.13	2.21	2.92
ウ	3.66	4.35	5.63
エ	2.46	2.73	3.29

資料：FAO(国連食糧農業機構)及びUSDA(合衆国農務省)各年次報告より

- a) は、元来熱帯アフリカ原産であるが、現在では世界各地で生産されており、国別の生産量では が卓越している。中国では伝統的にさまざまな酒類の醸造用にも用いられてきた。成分特性として、 に多く含まれるグルテンが存在せず、急増する食物アレルギー対策用穀物としても、近年注目を集めている。
- b) には、元来アジア種とアフリカ種という二大原種が存在するが、近年その交雑種として という全く新しい品種が開発された。この新種は、慢性的な食糧不足に悩み続けるサハラ以南のアフリカ諸地域の開発援助において、近年特に重要な役割を果たしてきている。
- c) は最も重要な穀物の一つであり、食料、飼料用としてばかりではなく、近年は の原料としても注目され、世界的な生産拡大が続いている。生産国では、 同様 が首位で世界の4割前後を占めている。その受粉期には水分が必須のため、同時期における同国中央部の早魃現象は、世界中の多様な消費動向にも大きな影響を与える。

d) は、温帯から亜寒帯まで比較的広範囲で生産され、更に生育期に乾燥に強いいため、内陸部の乾燥地域でも、 等の大規模な灌漑設備投資があれば十分に耕作可能である。旧大陸が原産であるが、歴史上近代以降は移民によって新大陸の各地にも広範に耕作地が拡大し、現在に至るまで世界貿易上の重要な穀物商品の一つとなった。

問 1 空欄 に当てはまる最も適切な国名を、以下の選択肢から選んでその記号をマークせよ。

- A アメリカ合衆国 B オーストラリア C ウクライナ
D カナダ E アルゼンチン

問 2 空欄 に適する品種名を、以下の選択肢から選んでその記号をマークせよ。

- A インディカ B アリカ C バスマティ
D ジャポニカ E ピリカ

問 3 空欄 に適する物質名称を、以下の選択肢から選んでその記号をマークせよ。

- A アセチレンガス B バイオマス C メタンガス
D バイオエタノール E ブタンガス

問 4 空欄 に適する用語を、以下の選択肢から選んでその記号をマークせよ。

- A プランテーション B フィードロット
C 트랙クファーミング D トランスヒューマンズ
E センターピボット

問 5 上記各文中のア～エの穀物の名称を、それぞれ解答欄に記入せよ。

問 6 表中の各穀物の数値は、年を追う毎にどれも増加傾向にある。その背景について考えられる事を、40字以内で説明せよ。

